

あさひの日だまり

NO.22

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～令和6年度全国学力・学習状況調査の結果をまとめました～

6年生が4月に行った「全国学力学習状況調査」の結果をまとめてみました。報告がずいぶん遅くなってしまいました。申し訳ございません。

調査内容は国語と数学のテストと子どもたちが日頃学校や家庭で考えていることに関する調査の2種類です。

私たち職員一同この結果をもとに子どもたちへの支援に関して変えなくてはいけない部分継続すべき部分を考えていかなくてはなりません。保護者の皆様、学校へのご意見がありましたらどうぞ遠慮なくお寄せください。

1 各教科の状況及び今後の取り組み

国語の点数は全県平均と全国平均とほぼ同じでわずかに上回りました。

(1) 国語の授業等で配慮してきたことは下の2点です。

- ① 漢字の理解と感想を書くことについての問題についてやや高い正答率でした。日頃の取り組みで効果があったと考えられることとして漢字学習を各々のペースで宿題として進めていることと、家庭学習の成果を振り返るためにミニテストを頻繁に行い家庭学習へとフィードバックできるように配慮してきたことが考えられます。
- ② 国語の授業はもとより、日々の学校生活の中で、子どもたちが出来事に対して自分の考えや思いを持てるよう、「どう思う？」という声がけや、そう感じた根拠を問い返し、自己表現する機会を意識的に作ってきました。

(2) 「話すこと・聞くこと」と「読むこと」に関する問題の点数が全国平均を若干下回りました。そこで今後取り組みたいこととして下の2点を考えました。

- ① 物語の学習では、文の読み取りや感想を伝え合うだけでなく、要約に重点を置いた学習を進めたいと思います。内容を自分の言葉でまとめることを繰り返し文章の趣旨を的確に把握し表現する力が付くと考えます。
- ② 国語だけでなく、児童会活動や日々の生活の中で自分の言葉で話せる機会を大切にしていきたいです。特に、学級会や学年集会、児童会、なかよし班活動など、相手意識が大切になる場面の中で、どう表現すればみんなに伝わるのか経験から学べるよう支援をしていきたいと思います。

算数の点数は県の平均点と全国の平均点を上回りました。

(1) 算数の授業において配慮してきたことは下の3点です。

- ① 既習事項があやふやなままで新しい学びを積み上げていくことはできないので、学習している内容だけではなく、つまずきの原因を探り、低学年の学習のやり直しから学習を進めることを心がけてきました。そうすることで“できた”“できるようになった”と実感し、苦手意識の強い児童が次第に自身を持って取り組めるようになってきていると感じます。
- ② 正解を発表するだけでなく、その答えになった根拠を説明し合う場面を意識的に設けてきました。
- ③ 宿題はドリルだけでなく、子どもの授業中の様子から手製のプリントを定期的に作成し取り組んできました。単元の終わりに単元テストを行うだけでなく、様々な単元を盛り込んだ手製プリントに取り組むことで学び直しができるよう配慮してきました。

(2) 今後取り組みたいこととして下のようことを考えています。

本校の児童は「あなたは算数の勉強が好きですか」という問いに「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」というところへ多くの児童が○をつけてくれました。今そう感じてくれている状況をできるだけ維持できるように現在の取り組みを継続するとともに、子どもたちの実態をよく見ながら新たに子どもたちが満足感や充実感を感じられる取組を工夫していきたいと思います。

多くの児童が算数を楽しんでいる一方で、授業に困難さを抱えている児童も多くいます。困難さを感じている

部分を丁寧に見取り、個別指導や一人ひとりに会った宿題などに取り組みます。

2 質問用紙において「当てはまる」と答えた割合が高かった質問は以下の通りです。

SNS 機器の使い方について家の人と約束したことを守っていますか。

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

人が困っているときに進んで助けていますか

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

学校に行くのは楽しいと思いますか

自分と違う意見について考えるのは楽しいですか

友達関係に満足していますか

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか

わからないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え工夫することはできますか。

5年生までに受けた授業では、課題の解決へ向けて、自分で考え自分から取り組んでいましたか。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか

先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか

学級活動における学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

- 私が上記の結果から感じたことは、「子どもたちと先生方との良好な関係」、「子ども同士の良好な関係」、「SNS に関して家庭でちゃんと約束ができていること」、「学ぼうとする意欲があふれていること」です。本校の子どもたちが信頼できる人たちに囲まれ「さあ今日も頑張ろう！」と思っていてくれるということが本当に嬉しいです。このような状況を創り出してくれている先生方と子どもたちに心から感謝です。その陰で悲しい思いを抱えている子も必ずいます。そういうことも決して忘れず声かけをしていきたいと思います。

3 質問用紙において「当てはまる」と答えた割合がやや低かった質問は以下の通りです。

自分には、よいところがあると思いますか

人の役に立つ人間になりたいと思いますか

学習時間は2時間以上ですか

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの機器をどの程度使用しましたか

- 自分自身のよいところがあると思っている児童の割合が平均を下回っていることが気になります。現在職員は子どもたち一人ひとりにその子の素敵さを語り子どもたちが自分の良さを自覚できるように配慮しています。今後さらに子どもたちが思い切って挑戦できる機会を設け、自ら行動している素晴らしい姿を子どもたちに重ねて語っていききたいと思います。
- 「今の自分は人の役に立つ人間になれていないな」という思いの裏返しとしての回答であるように思います。子どもたちの様子を見てみると、仲間が困った時に声をかけたり、手助けをしたりする姿がよくみられます。「あなたたちは相手の気持ちを理解して手を差し伸べることができる人たちだよ」という言葉を場を捉えて語りかけていくことで、是非とも人のために尽くす心地よさを感じて欲しいと思います。そういう心の動きが「人の役に立ちたい！」という思いを一層育んでくれると思います。
- 学習時間は決して多くないことは事実です。ただ、調査結果は県や全国と比較して決して平均点が低いというわけではありません。学習方法を工夫することで、子どもたちにとって必要なことを必要な時間学ばせることができていると理解しています。今後どうしても学習内容を習得するためには学習時間を増やす必要が出てきた時点で子どもたちにその必要性を語り学習時間の確保を図ります。
- 5年時での利用がやや不足していた実態を反省し、現在クラスルーム等を盛んに利用して授業を実践しています。今現在同様の調査をしていただければかなり高い割合で「利用している」という回答が期待できる状況になっています。